

JAMトピックス

JAM第41回中央委員会

春闘方針 ベア 9000 円決定

価格転嫁「まったなし」を特別決議



春闘に勝利し、ニッポンを復活させるまで団結してガンバロー

JAMは1月17日第41回中央委員会を東京・連合会館で開催し、2023年春季生活闘争方針を決定した。中長期的に実質賃金が低下、過年度物価上昇に対する実質生活の維持、あるべき水準との乖離を踏まえ、分配構造の転換を進める観点から「底上げ」「底支え」「格差是正」をめざす。

具体的には、賃金構造維持分4500円にベースアップ9000円を加え「人への投資」として13500円以上を要求。すべての単組は、従来からの取り組みに加え、生活防衛の観点から実質賃金の維持・向上に向けて要求することを決めた。今春闘は、「生活防衛」「労働の価値」「製品の価値」のいずれも取り残すことができない。価格転嫁を実現し、賃上げの原資を確保することにより何としても実質生活を守らなければならない。現在の危機的な状況を踏まえ、「価格転嫁『まったなし』特別決議を確認した。

統一要求日は、2月21日(火)、統一回答指定日を3月14日(火)・15日(水)とする。議案は「2023年春季生活闘争方針に関する件」、「第26回参議院議員選挙総括に関する件」などの4本をそれぞれ確認した。

来賓として、JCM・金属労協から金子晃浩議長、森本真治参議院議員、村田享子参議院議員からあいさつを受けた。

参加は中央委員110人など、計234人。



激励のあいさつをする村田享子参議院議員(左)
森本真治参議院議員(右)